

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第2回弘前市スポーツ推進審議会
開 催 年 月 日	令和4年11月8日(火)
開 始 ・ 終 了 時 刻	13時30分 から 15時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所前川本館4階 第1委員会室
議 長 等 の 氏 名	【議長(会長)】 公益財団法人弘前市スポーツ協会 副会長 田澤 昭次郎
出 席 者	【学識経験者】 田澤 昭次郎 公益財団法人弘前市スポーツ協会副会長 福田 由理子 弘前市スポーツ推進委員 小山内 修 弘前市スポーツ少年団本部長 木村 宏 東奥日報社弘前支社長 渡邊 智 陸奥新報社取締役 鹿内 葵 青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 幹事長 【関係行政機関】 相馬 英明 弘前市立第二中学校長 相馬 伸光 弘前市立第三大成小学校長 【公募委員】 上田 優人 西澤 雄貴
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	一戸ひとみ 健康こども部長 小山内一仁 健康こども部スポーツ振興課長 若松 義人 健康こども部スポーツ振興課長補佐 平野 家隆 健康こども部スポーツ振興課主幹 川村 拓 健康こども部スポーツ振興課主事
会 議 の 議 題	・第2期弘前市スポーツ推進計画について(諮問事項) ・令和5年度補助金交付計画について(諮問事項)
会 議 結 果	事務局案で委員の承認を得た
会 議 資 料 の 名 称	・第2期弘前市スポーツ推進計画(概要版) ・令和5年度補助金交付計画 ・弘前市スポーツ推進審議会について(概要)

<p>会 議 内 容</p> <p>(発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)</p>	<p>(会議内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長挨拶 4. 組織会 正副会長の選任について 5. 諮問書提出 6. 会議 7. 閉会 <p>≪ 1. 開会 ≫</p> <p>≪ 2. 委嘱状交付式 ≫ (市長より委嘱状を交付)</p> <p>≪ 3. 市長挨拶 ≫ (市長挨拶後、別の公務のため退席)</p> <p>≪ 4. 組織会 ≫ 正副会長の選任について</p> <p>事務局：まず初めに、会長の選任になります。 議事進行のために仮議長を選任したいと思いますが、 どなたかご発言ございませんか。</p> <p>事務局：いらっしゃらなければ、事務局といたしまして、長年、 当審議会の委員を務めておられます小山内委員にお願い したいと考えておりますが、皆様、いかがですか。</p> <p>(委員より異議なしの声あり)</p> <p>事務局：それでは仮議長は小山内委員にお願いします。</p> <p>仮議長：会長を選任したいと思います。どなたか立候補又はご 推薦等ございましたらお願いします。</p> <p>委 員：田澤さんが適任だと思いますので推薦します。</p>
---	---

(委員より異議なしの声あり)

仮議長：ご異議がないようですので、会長は田澤委員にお願いいたします。

会 長：議事を進めてまいります。

まず、副会長を選任したいと思いますが、立候補又はご推薦はございませんか。

(委員から特に発言なし)

会 長：小山内委員にお願いしたいと思いますが皆さんいかがですか。

(委員より異議なしの声あり)

(小山内委員了承)

会 長：それでは小山内委員に決定いたしましたので、組織会を終了します。

《 5. 諮問書提出 》

スポーツ振興課長から田澤会長へ諮問書提出

《 6. 会議 》

事務局：審議会と市のスポーツ振興課の業務の概要について説明。

会 長：ただ今の説明についてご意見、ご質問等ございませんか。

委 員：なし

会 長：ご意見がないようですので、先ほど、弘前市より諮問された案件である、議題1「第2期弘前市スポーツ推進計画について」に入りたいと思います。それでは、計画内容について、事務局から説明をお願いします。

議事（1）第2期弘前市スポーツ推進計画について

事務局：計画内容について説明。

会 長：ただ今の説明についてご意見、ご質問等ございませんか。

委 員：赤字の部分は改訂となる部分でよいか。

事務局：その通りです。

委 員：第1期弘前市スポーツ推進計画の総括を示してほしい。それを基に評価検証を行い、第2期弘前市スポーツ推進計画の検討をしていきたい。

事務局：第1期弘前市スポーツ推進計画の最終総括については、現在も計画期間中であることから令和5年度の作成となる。昨年度までの総括評価を資料として作成し、それに基づき第2期弘前市スポーツ推進計画について諮っていきたい。

また、第1期の期間の最終評価については、令和5年度の審議会にて審議の場を設けたい。

委 員：P5の児童・生徒のスポーツ活動に関する部分について、「生徒」を追加するのはとても良いと思う。中学校のスポーツ活動に係る数値も記載して検証することで小学校と中学校の比較が可能となると思う。その他、中学校の部活動の地域移行の記述について、国が示した方針を基に、市が主体として検討していくことが伝わるようにする必要があると思う。

委 員：国の方針だけでなく、少子化などの要因も含めて、地域移行を捉えていく必要があると思う。

委 員：P6の参加している児童の割合について、新型コロナウイルス感染症の影響かなり減っているような感覚がある。スポーツ少年団も減っていると思われる。令和3年と令和4年も含めて、検討をしたほうがよいと思う。

事務局：教育委員会に確認しながら数値データを取得していきたい。

委員：P13、14について、数値目標は3つの柱それぞれに定めた方がよいのではないかと。それぞれ、文言ではなく具体的に数値目標を設定できれば、より実効性があるものになっていくのかと思う。

また、中学校部活動の地域移行について、スポーツ振興課と教育委員会とは、どちらが主導していくことになるのか。

事務局：現時点では学校の活動なので教育委員会が主導となると考えている。ただし、実際は学校外の団体のなかで実施しているところもある。土日だけは地域に移行するとしているが、この先は完全にそとの団体で担うこととなるのが予想される。そのため今回のスポーツ推進計画にも記述している。この先、学校の活動と切り離すのか、切り離さないのかにもよって今後の主導が変わってくると考えている。

事務局：目標については、1がする方の目標、2がする方、見る方、支える方に向けた目標となっている。見る人と支える人に向けた指標があるのか、今後検討していきます、1月の審議会でも諮れるように事務局にて検討します。

委員：数値目標について2026年度が最終目標となっているが、委嘱状の任期が2年となっているので、目標も任期にあわせて、中間評価のような形で目標を設置したほうがよいと思う。

事務局：実績値としてその都度更新していくことになる。

委員：P14. 数値目標について、目標1は2023に取得となっているが、P4と同じように集計するという解釈でよいか。

事務局：P4はこれまで実施してきた市民意識アンケートであり、月1回の運動習慣の割合となっているが、国の指標が週1回なので、今後の市民意識アンケートにおいても週1回として実施したいと考えている。

委員：子供たちの運動習慣も大事だが、働き盛りの運動習慣も重要である。P5 のグラフからもわかるように大人の習慣を上げるものが数値を上げることに繋がる。大人が参加できるアップルマラソンやリレーマラソンを実施していることでよい成果が得られると思う。

会長：50 代が運動していない割合が高いようなので、課題として考えてはどうか。

事務局：スポーツ振興課では、昨年度から働き盛りのスポーツ教室を実施しており、底上げしていく余地はあるので、さらに取り組んでいきたい。

会長：これから課題の部分はこれから追記していくのか。

事務局：追記していく。

委員：市民のスポーツをしている割合を見ると、H30 が低くなっているなので、要因を探っていく必要があると考える。

委員：新たな3つの視点について、具体的に反映されていないのではないかと。「アクセスできる」の部分が入っていた方がいい。「つくる、はぐくむも」反映されたほうが良いかもしれない。

事務局：柱3の情報発信の部分に盛り込んでいきたいと考えている。市で構築に向けて準備を進めているスポーツ関連ウェブサイトがその部分を担うことができると考える。スポーツ関連の情報を一元化したサイトを目指している。

例えば、イベント実施場所までの交通手段としての「アクセス」という形ではないが、ウェブサイトは情報取得の入口という意味で捉えている。

委員：社会体育施設改修という記述ではなく、アクセスや費用をどうするかなどの環境整備としたほうがよいの

ではないか。

事務局：あらたな3つの視点について、もう少しコメントできるように検討していく。

会 長：この会議以降に気づいたものは随時事務局に問い合わせるとしてよいか、期限等もあればよいかと思う。

事務局：来週の金曜日18日をめどにご意見をいただきたい。

議事（2）令和5年度補助金交付計画について

事務局：計画内容について説明。

会 長：ただ今の説明についてご意見、ご質問等ないか。

委 員：スキー、相撲、剣道、一輪車競技もとても大事だが、一部の団体のみ補助になっているように見える。申請制の補助金に変えるなどして、いろいろな競技の団体が補助金を使用できるようになれば良いと思う。

また、市町村合併して何年にもなるので、相馬、岩木を統合しても良いと思う。

スポーツ少年団の補助金だが、スタートコーチに変わるのか現在の予算で足りるのか、予算を確認する必要があると思う。

外部の講師がはいる場合、決められた講習会を受けた者だけが指導者となれるような、決まりが必要ではないか。

補助金で地区のスポーツのマネジメントも担っていく必要があると考えている。

事務局：令和5年度から、全国大会開催に対して補助金を出すという形にするよう検討している。教育委員会においても全国大会に係る補助金がある。

相馬・岩木の補助金については、合併した形ではあるが、それぞれの地区の大きさもあるため一律には決められない状況にあると認識している。

委員：今後はスポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ、また営利団体、非営利団体問わず、様々な団体が共通理解のもと、ジュニアやユースの世代を育てていく必要があると認識している。

委員：指導者育成に関しての仕組みの整備が必要であると考えているので、そのような活動に補助金を使っていければよいと思う。

会長：ほかにご意見がないようですので、「令和5年度補助金交付計画」について、ご異議ございませんか。

(委員より異議なしの声あり)

会長：それでは、原案は適正であると認め、市長に建議します。

議事(3) その他

会長：この機会に皆様から何かございますか。

委員：情報サイトについて、少し聞きたい

事務局：スポーツ関連のポータルサイト構築を目指して準備を進めている。

委員：働き盛り教室に推進委員を絡めてもよいかもしれない。

委員：小学校の親子レクについて、キンボールを実施した。推進委員が指導した。そのように、いろんな場面で推進委員も協力したいと考える。小さい子供たちにもいろんなスポーツを教える機会があるかと思う。

委員：地方の予算が縮小していく中、地域再生計画に乗せると企業版ふるさと納税の対象となると聞いたことがある。そのような形で予算を確保してスポーツ推進計画実現のための資金を調達するのは良いのではないか。

	<p>また、今回の推進計画の中に、地元のスポーツチームを応援するとあるが、具体的にどんな支援があるのか知りたい。地域おこし協力隊を各チームに入れてもらえると、人不足の解消など、市の財政に負担かけずに問題解決できるかと思う</p> <p>事務局：他の自治体の例も踏まえて弘前市でも活用可能なのか精査したい。ふるさと納税についても情報収集したい。</p> <p>委員：第2期の計画に予算を割いていただき、スポーツのすそ野を広げる活動をしてほしい。全国大会に関する支援を実施しているが、その他に、スポーツの環境整備についても検討してほしい。市でも歩いてポイントを獲得する事業をやっているが、事業を知らない市民も多いと感じるので、SNS を利用するなど情報発信が必要である。</p> <p>事務局：次回の審議会でスポーツ賞について審議する予定で、各方面に募集をかけておりますので、全国大会に出場した方など情報提供いただけると助かります。</p> <p style="text-align: center;">閉会</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>・会議は公開</p>